2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	基礎柔道整復学・各論Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年生	学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎301
担当教員	伊黒 浩二 実務経験とその関連資料	•			

《授業科目における学習内容》

各関節の解剖学的構造を理解した後に、各骨折の発生についてを学びます。

《成績評価の方法と基準》

- 1. 定期試験:100%
- 2. レポート: % 3. グループワーク中の態度・発表: %

《使用教材(教科書)及び参考図書》

パソコン(パワーポイント・スピーカー)、各種計測機器 柔道整復学・理論編第7版および柔道整復学・実技編第2版

《授業外における学習方法》

講義の復習と次回講義の予習をすること

《履修に当たっての留意点》

米担登後即の未務範囲である同和ですが、使于登後の対象アトとはのことの多い即位とはります。 しかし、スポーツ現場等で発生することも想定されますので、発生機序や処置法についてはしっかり理解しておく必要があります。また、国家試験にも頻出の部分となりますので、国家試験対策も含めての演習も並行して実施していきますので、復習を怠らないようにして下さ

1. \	大学の 内 容 使用教材 授業以外での準備学習 の見体的な内容						
	法		内 容		授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第 1 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	下肢の解剖学構造を理解する	柔道整復学·理 論編第7版(南江 堂)	講義の復習と予習をすること		
		各コマに おける 授業予定	下肢の解剖学的特徴について	室) 柔道整復学・実 技編第2版(南江 堂)			
第 2 回	講義	授業を 通じての 到達目標	骨盤骨骨折について理解する(1)	柔道整復学·理 論編第7版(南江 堂)	講義の復習と予習をすること		
	我形式	各コマに おける 授業予定	骨盤骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定 法、後療法	型 柔道整復学・実 技編第2版(南江 堂)			
第 3 回	授業を 通じての 計 到達目根 義		大腿骨骨折について理解する(1)	柔道整復学·理 論編第7版(南江	# 关 の 佐 羽 し マ 羽 ナ ユ		
	莪形 式	各コマに おける 授業予定	大腿骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定 法、後療法	堂) 柔道整復学·実 技編第2版(南江 堂)	講義の復習と予習をす ること		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	大腿骨骨折について理解する(2)	柔道整復学•理 論編第7版(南江 堂)	講義の復習と予習をすること		
4 0	戦 形式	各コマに おける 授業予定	大腿骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定 法、後療法	型) 柔道整復学・実 技編第2版(南江 堂)			
3	講義	授業を 通じての 到達目標	大腿骨骨折について理解する(3)	柔道整復学·理 論編第7版(南江	# 关 の 佐 羽 l . マ 羽 ナ 上		
	義形式	各コマに おける 授業予定	大腿骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定 法、後療法	堂) 柔道整復学·実 技編第2版(南江 堂)	講義の復習と予習をす ること		

	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	講義形式	授業をの 到達目標 各コマはる おける 授業	大腿骨骨折について理解する(4) 大腿骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定 法、後療法	柔道整復学・理 論編第7版(南江 堂) 柔道整復学・実 技編第2版(南江 堂)	講義の復習と予習をすること
第 7 回	講義形式	授業での 選達 をの 到達 日標 各コマナラ おけ予 定	膝蓋骨骨折について理解する 膝蓋骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定 法、後療法	柔道整復学·理 論編第7版(南江 堂) 柔道整復学·実 技編第2版(南江 堂)	講義の復習と予習をすること
第 8 回	講義形式	授業をの 到達 各コマは おける 授業	下腿骨骨折について理解する(1) 下腿骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定 法、後療法	柔道整復学·理 論編第7版(南江 堂) 柔道整復学·実 技編第2版(南江 堂)	講義の復習と予習をすること
第 9 回	講義形式	授業を 通じ目標 名コマける おける 授業	下腿骨骨折について理解する(2) 下腿骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定 法、後療法	柔道整復学・理 論編第7版(南江 堂) 柔道整復学・実 技編第2版(南江 堂)	講義の復習と予習をす ること
第 10 回	講義形式	授業を 通じ目標 名コマける おける 授業	下腿骨骨折について理解する(3) 下腿骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定 法、後療法	柔道整復学・理 論編第7版(南江 堂) 柔道整復学・実 技編第2版(南江 堂)	講義の復習と予習をすること
第 11 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標 各コマに おける 授業予定	下腿骨骨折について理解する(4) 下腿骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定 法、後療法	柔道整復学·理 論編第7版(南江 堂) 柔道整復学·実 技編第2版(南江 堂)	講義の復習と予習をすること
第 12 回	講義形式	授業を 通じ目標 各コマはる おける 授業予定	下腿骨骨折について理解する(5) 下腿骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定 法、後療法	柔道整復学·理 論編第7版(南江 堂) 柔道整復学·実 技編第2版(南江 堂)	講義の復習と予習をすること
第 13 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標 各コマに おける 授業予定	足根骨骨折について理解する(1) 足根骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定 法、後療法	柔道整復学·理 論編第7版(南江 堂) 柔道整復学·実 技編第2版(南江 堂)	講義の復習と予習をすること
第 14 回	講義形式	授業をの 到達目標 名コマける おける 授業	足根骨骨折について理解する(2) 足根骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定 法、後療法	柔道整復学・理 論編第7版(南江 堂) 柔道整復学・実 技編第2版(南江 堂)	講義の復習をすること
第 15 回	講義形式	授業を 通じて目標 各コマける おけ予定	まとめ 後期全講義の学生理解度を確認する 国家試験問題演習	柔道整復学・理 論編第7版(南江 堂) 柔道整復学・実 技編第2版(南江 堂)	後期講義の学生理解度を確認する